

②ネットワークの要となって 縦割りの垣根を越える（川口市）

社会教育の専門性を、こんな課題に…

- # 地域での学びを充実させたい
- # 地域の「ひと・もの・こと」と連携して教育課程を豊かにしたい
- # コミュニティ・スクールの仕組みを導入したい/学校運営協議会を充実させたい

取組のポイント

- ①社会教育主事経験者がそれぞれの異動先で作り上げたネットワークを活用。社会教育主事がつなぎ役となって公民館と行政部局の連携が実現。
- ②地域学校協働活動の推進のための連携体制を教育局内で確立。学校教育と社会教育のそれぞれの取組を教員籍の社会教育主事がつなぐ。

取組の様子 ・ 成果等

- ・公民館から事業の相談を受けた社会教育主事が、社会教育主事経験者のネットワークを活用。**福祉各部局と連携した充実の講座が実現。**
- ・社会教育主事から関係する教育局内他課に向け、積極的な働きかけを行い、連携体制を構築。あらゆる協議の場面で**ファシリテーションスキルを発揮**。

社会教育主事を中心とした部局間の連携（埼玉県川口市）

社会教育主事の配置状況等

埼玉県川口市：人口約60万人の中核市
 社会教育主事の配置（2019年度）

- ・生涯学習課：6枚（うち教員籍2名）
- ・有資格者数の把握はしていないが、社教主事講習を毎年1～2名受講

取組の概要と特長

- ・社会教育主事を経験した職員が、異動先の部署で新たなネットワークを築き、**現役社会教育主事と連携・協働**することで、新たな公民館講座の企画・運営に繋がっている。
- ・教育委員会事務局内において、学校教育担当課と社会教育担当課が連携し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の**一体的な推進体制を構築**している。

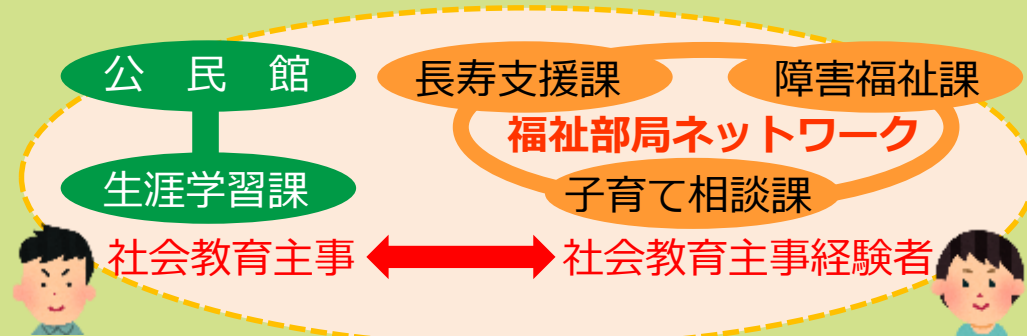
取組と成果Ⅰ 社会教育主事経験者のネットワークを生かした公民館講座の企画・運営

福祉部局 × 公民館 × 生涯学習課

- ・公民館から「虐待」をテーマにした人権講座を開催したいとの相談をきっかけに、現役社会教育主事と福祉部局の社会教育主事経験者が連携し、講座を企画・運営した。
- ・元社会教育主事が築いた福祉部局ネットワークを活用することで関係課と連携体制をスムーズに構築することができ、シンポジウム形式の講座を実施することに繋がった。



福祉に関する公民館講座 企画・運営ネットワーク



取組と成果Ⅱ 学校支援から「地域学校協働活動」への発展とコミュニティ・スクールとの連携体制の構築

学校教育部（指導課・学務課） × 生涯学習課

- ・学校教育部指導課主催の学校応援団に関する研修会や会議において、「地域学校協働活動」について説明したり学務課管轄の学校運営協議会の研修会ワークショップでファシリテーターを務めたりする等連携体制を構築。
- ・関係課による今後の方向性や仕組み等を検討する機会をコーディネートするとともに、協議等において社会教育主事がファシリテーションを担当。



「地域学校協働活動」の推進のための連携体制

